

「地域審議会」及び「庁舎再編についての意見交換会」 でいただいた主な意見について

◆統合案について

①増築案(既存庁舎活用案)に賛成という意見の理由

<財政面から>

- ・ 将来、世の中の情勢がどのようになっているのか、行政の役割がどのように変化していき、財政状況がどうなっていくのか、予想がつきにくいいため、今はなるべくお金がかからない方法を選ぶべきであり、次世代に負担を残すべきでない。
- ・ 庁舎の統合に要するコストをなるべく減らすことが重要であり、建設にお金をかけるより、福祉、子育てなど、今やるべき他の事業に使うべきである。市民の幸せは建物では得られない。
- ・ 人口が減っていく状況の中、あえて新庁舎を建てる必要はないと思われる。あるものを使えばよい。
- ・ いちばんライフサイクルコストが安い福光庁舎増築案がよい。

<本庁舎機能と市民生活の面から>

- ・ 市民が庁舎に行く用事がほとんどなく、庁舎にかかるコストは抑えるべきである。
- ・ 一般の人には、行政センターが残っていれば特に問題がなく、庁舎がどこに建っていようがそんなに不便を感じないので、コストが安い増築案でよい。
- ・ 庁舎は、職員が仕事さえできればよく、通常の業務に支障がない程度の質素な建物でよい。
- ・ 中山間地のことを考えると、中山間を抱える福光での増築案が市全体としてよい。

②新統合庁舎案(新築庁舎整備案)に賛成という意見の理由

<新たなまちづくりの拠点として>

- ・ 新統合庁舎を中心に新たな町が出来ることで、市が発展する夢をもつことも必要と考える。将来の子供たちにも自慢できるようにした方がよい。
- ・ 増築案の場合、4つの旧町による綱引きが、どうしても発生してしまう。禍根を残すことになるくらいなら新庁舎を建てればよい。

<庁舎の位置について>

- ・ 市内のどこからでもアクセスしやすい位置に庁舎を設けることが可能である。
- ・ 人口の重心を考慮に入れて新統合庁舎の建設位置を検討すれば、不公平感を少なくすることができる。
- ・ 将来的に人口増や発展の見込める福野地域の新統合庁舎が理想である。
- ・ 将来の合併などいろいろなことを考えると、呉西の中心に位置する福野がよい。

<災害対策から>

- ・ 断層帯や河川等の災害リスクを考えると、より安全な場所に庁舎を設けることが出来る。

<財政面から>

- ・ コスト面だけで考えるべきではない。総合的に考えると新統合庁舎がよい。
- ・ 新庁舎を建設しても、将来的に空いてくるスペースはテナントや高齢者入居、子供たちの集まる場所等に貸し出し、収入を得ることも可能である。
- ・ お金があれば新統合庁舎がよい。
- ・ 中途半端にお金を使って増築するのは反対。

<土地の確保面から>

- ・ 家屋の移転補償を伴わずに土地を確保する事が可能であり、人口流出を抑えられる。
- ・ 新統合庁舎の場合は、国道の拡幅工事や大きな川の洪水被害等を考慮しなくてよい。
- ・ 増築は、敷地確保に不安がある。

③その他の統合方法についての意見

- ・ 第1段階として、メインの庁舎とサブの庁舎の2庁舎体制とすることで、増築や新築等の初期投資を抑制することができる。そして、時期を見て、次の段階で統合すればどうか。
- ・ もっと経費を抑える方法がないか検討してみたらどうか。
- ・ 公立南砺中央病院や井口行政センターの活用パターンも考えればどうか。
- ・ 耐用年数まで現庁舎を使用し、最終的に耐用年数が一番長い福光庁舎に集約するのでよいのではないか。
- ・ 新築、増築せずに、将来的に学校統合により余ってくる校舎を庁舎とすればどうか。
- ・ テレビ会議等を使う工夫をすることによって、今の4庁舎のままでよいのではないか。
- ・ 分庁舎方式をうまく活用すべきではないか。

◆その他の視点について

①庁舎の位置について

- ・ 公共交通との連携が必要であるので、利便性を考えて欲しい。
- ・ 高齢化社会を考えるとJR沿線にあった方が便利である。
- ・ 山間部に住んでいるので、なるべく自分の住んでいる地域から近い方がよい。
- ・ 新統合庁舎の場合、場所をどこにするかでまた議論が必要となってくる。
- ・ 福光庁舎の周辺に新たなまちづくりの余地はないように感じる。
- ・ 福野は県の施設や商業ゾーンも充実しているし、区画整理済みでまちづくりを行うのに余裕がある。
- ・ 庁舎が移ればおのずと町が出来る。
- ・ 広い道路のそばがよい。
- ・ 争いにならないようにして欲しい。
- ・ どこが一番便利かを考えて進めて欲しい。

②災害対策から

- ・ 災害、地震を考慮すべきである。
- ・ 南砺市には断層が走っており、安全な場所を選ぶ必要がある。
- ・ 断層の調査を行って欲しい。

③庁舎規模について

- ・ 試算では、総務省基準から延床面積を求めているが、南砺で暮らしません課のように、庁舎外にあった方がよい部署もあり、なるべく面積を絞った方がよい。
- ・ 霞が関や県庁のように、最低限の規模で考えるべきである。

④地域づくりとの連携

- ・ 商店街と連携して発展していくようにすればよい。
- ・ 空家が増えている事など、総合的に考えていく必要がある。
- ・ 医療福祉ゾーン、文化芸術ゾーン等、地域の特色やバランスを考慮して進めればよい。

⑤統合時期について

- ・現在のままでは、庁舎の維持管理費が目に見えない支出となっており、早いうちに統合してしまった方がよい。
- ・不便なので、どこでもいいから、早く実行して無駄をなくして欲しい。
- ・借地に建っている庁舎もあるので、いらなくなった場合は早めに解消するべきである。
- ・公共施設再編計画と関連しており、庁舎再編はいち早く取り組むべきである。
- ・どのような方向性になったとしても、市民全員が納得する結論は得ることが出来ない。いつまでに決めなければならないという期限はないので、しっかり議論し、慎重に取り組んで欲しい。
- ・意見がまとまらないことはやむを得ないので、いつかの時点で政治的判断が必要である。
- ・4町のそれぞれをどう発展させるかを考えた後で庁舎を考えるべきではないか。

⑥残った庁舎等の活用について

- ・現在、各種団体が入っている庁舎もあるので、どうするか検討が必要である。
- ・行政で使わなくなった建物は壊す前に、民間活用の検討をして欲しい。
- ・庁舎が不用となり取り壊しても空き地として残らないよう土地の活用を考えるべきである。
- ・跡地は更地にして、行政センターもどこかの施設に入ればよいのではないか。

⑦その他

- ・地域のエゴを捨てて検討していくことが大切である。
- ・どこに整備してもよいが、個人と同じで、あるお金を全部使わず、貯蓄していくことも重要である。
- ・庁舎はお金を生まないもの。社会情勢等の様子を見ながら進めるべき。
- ・旧町村のブロック的な考えはなくし、この機会に行政センターを3箇所くらいに減らせばよい。
- ・新庁舎を建てて行政センターを減らすことも検討すべきである。
- ・行政センター機能は市民にとって非常に大切であり、強化して欲しい。
- ・次の市町村合併も視野に入れて考えた方がよい。
- ・職員のチームワークをいかに発揮していくかなど、ソフト面も大切である。
- ・事務の効率化により人数が何人減って年間いくらコストカットできるのか示した方がよい。
- ・跡地の売却や貸付などを行い建設費に充てるなどの検討をすればよい。
- ・現在の庁舎は、情報発信型であるので、しっかり情報収集し、分析できる場となればよい。
- ・コンパクトな行政を望む。
- ・庁舎問題を考える前に、消雪対策等にお金を使って欲しい。
- ・若者が住みやすいまちづくりとして庁舎が大きな役割を果たすと思う。
- ・市役所が市の顔ではない。仕事やしやすく、市民が集いやすいことが大切である。